

2025 年 9 月 3 日

岐阜大学医学部附属病院の入院診療を受けられた患者さんへ

「 岐阜大学医学部附属病院に入院したリチウム中毒患者 の後方視的検討 」 への協力のお願い

岐阜大学医学部附属病院高次救命治療センターでは、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2007 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日の間に、当院において、リチウム中毒の治療を受けられた 18 歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2030 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：炭酸リチウムは双極性障害などの治療に用いられる治療薬です。一方で、リチウムの有効血中濃度の範囲は狭く、リチウム中毒は中枢神経障害や致死性不整脈など生命にかかわる疾患です。血中リチウム濃度の結果判明には時間を要するため、臨床現場では、迅速に判明する検査結果項目等から血中リチウム濃度を推定し、血液浄化療法などの治療を行う必要があります。本研究では、リチウム中毒患者を後方視的に研究し、血中リチウム濃度の推定に役立つ項目がないか検索することを目的とします。特に、アニオンギャップと血中リチウム濃度が相関する可能性があることが過去の報告で示唆されており、これらの関連性を主に探索します。

研究に用いる情報の項目：以下の項目について、診療録から取得します。

- ・年齢性別、診断名、病歴、既往歴、家族歴、投薬歴、身長、体重、BMI、嗜好歴
- ・来院時からのバイタルサインの経過、救急搬送関連情報
- ・検査項目：血清総蛋白、アルブミン、AST、ALT、LDH、CPK、総ビリルビン、直接ビリルビン、総コレステロール、HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪、BUN、CRE、尿酸、ナトリウム、カリウム、クロール、カルシウム、リン、マグネシウム、BNP、NT-proBNP、トロポニン I、血糖値、HbA1c、CRP、血漿浸透圧、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、PT、APTT、フィブリノーゲン、FDP、ATIII、d ダイマー、血液ガス、アニオンギャップ、乳酸値、血清リチウム
- ・レントゲン検査、CT 検査、MRI 検査（画像検査情報）
- ・MMSE や HDS-R、WAIS、IQ（高次機能評価尺度）
- ・リチウム中毒の治療内容（胃洗浄、血液浄化療法、活性炭投与）
- ・治療経過（バイタルサインの経過、尿量、輸液量、血液浄化療法の有無、人工呼吸器装着期間、高次救命治療センター入院期間、当院入院日数、退院先）
- ・各種スコアリング（急性期 DIC スコア、SOFA スコア、APACHE II スコア）
- ・予後（死亡の有無、退院後の ADL）

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2025 年 9 月 5 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としますので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
氏名：三浦 智孝

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
電話番号：058-230-6448
氏名：三浦 智孝

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp